

2018/11/30 第9回全国シェアサイクル会議



- MaaSを視野に入れた事業展開 -

株式会社 **ヴァル研究所**[®]

公共交通企画担当
公共交通オープンデータ化アドバイザー
諸星 賢治

アジェンダ

1. 公共交通とオープンデータについて
2. 複合経路検索サービス「mixway」について
3. 「mixway」実証実験アンケート結果
4. MaaSを意識した今後の展開

公共交通とオープンデータについて

—

経路検索サービスの位置づけ

事業者（公共交通）の情報と、
利用者のニーズとのマッチングツール
交通事業者から見るとTVなどにCMを打ったり、
公式サイトに情報を拡充させたりするのと同じ位置づけ



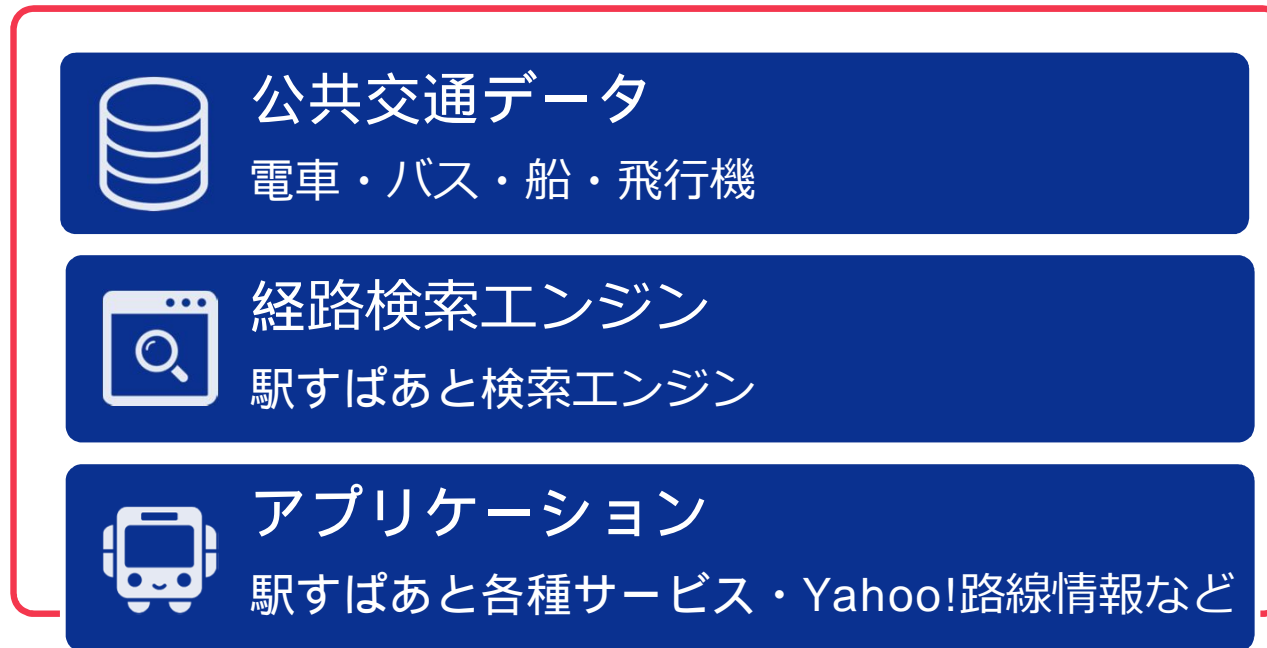
公共交通機関の情報が揃っていると、
実勢に合った適切な移動経路を利用者に案内が可能

経路検索サービスの仕組み



駅すぱあと®

データの流れ



サービス利用



利用者

バスで始まったデータ標準化・オープン化

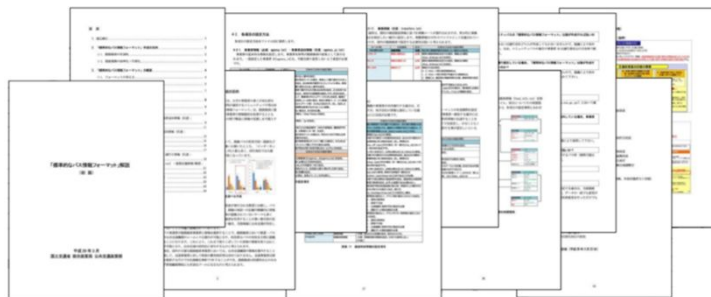
2016/12 ~ 2017/3

国土交通省 総合政策局
バス情報の効率的な収集・共有に向けた検討会

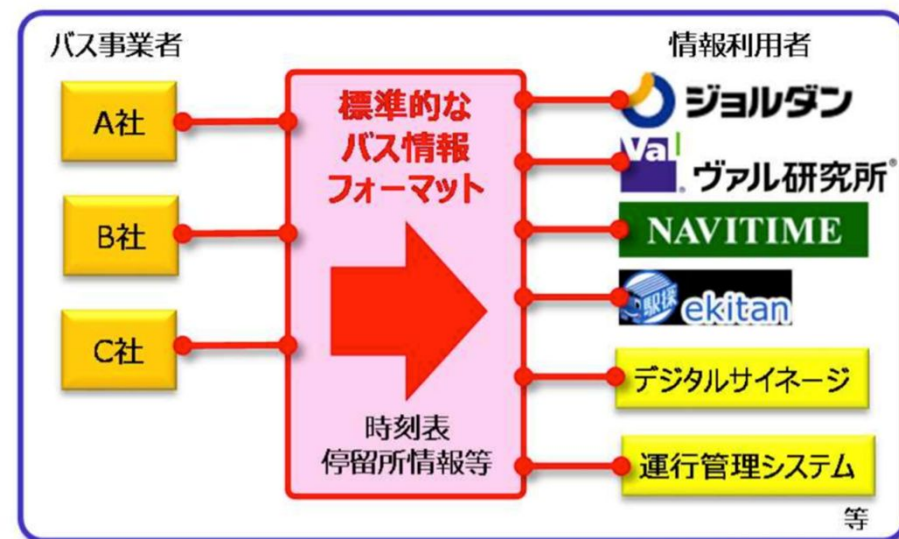


2017/3

国土交通省 総合政策局
「標準的なバス情報フォーマット」の策定



「標準的なバス情報フォーマット」による情報提供のイメージ

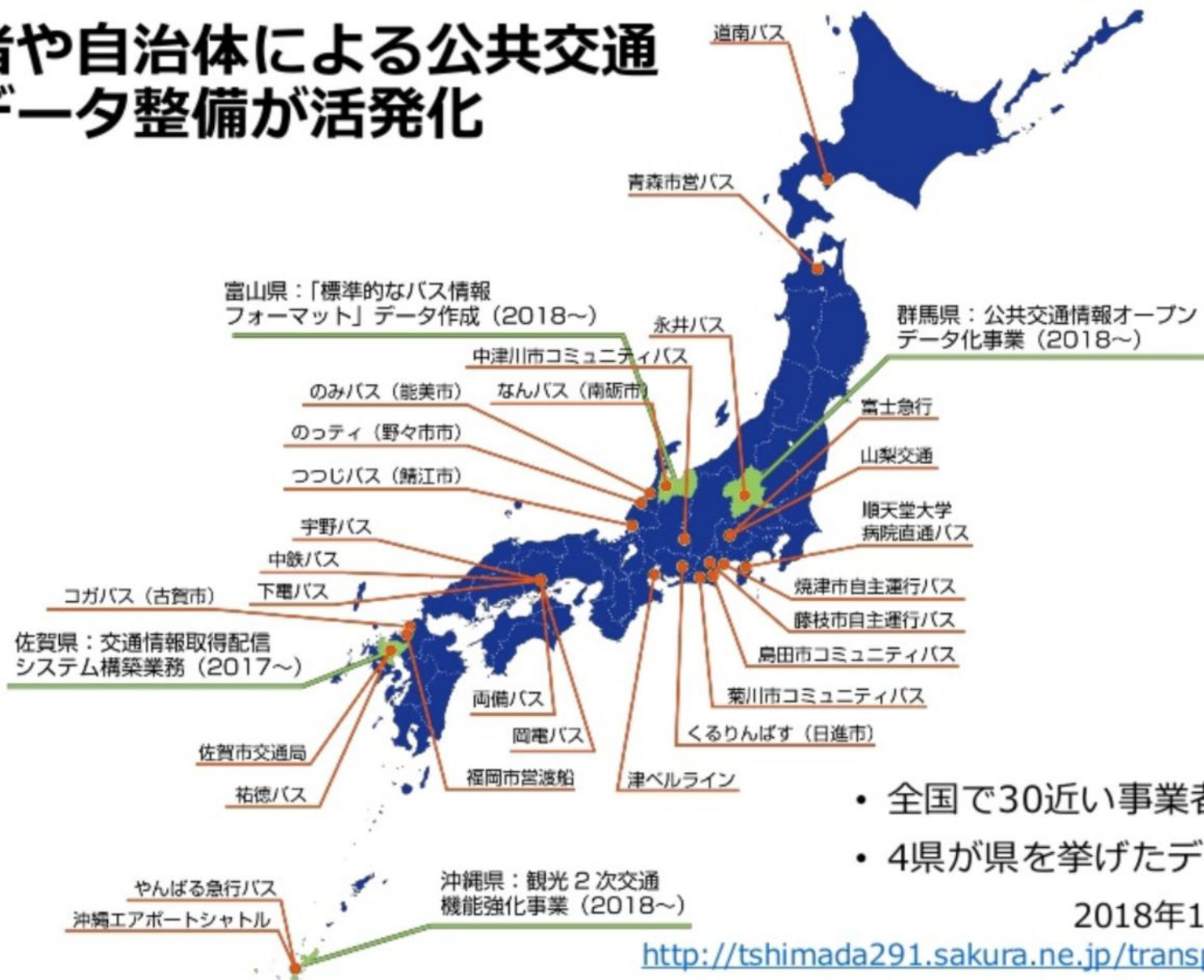


国土交通省

「標準的なバス情報フォーマット」を定めました
～ 経路検索におけるバス情報の充実に向けた取組 ～

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000109.html

バス事業者や自治体による公共交通 オープンデータ整備が活発化



- 全国で30近い事業者が整備・公開
- 4県が県を挙げたデータ整備中

2018年11月現在 伊藤調べ

<http://tshimada291.sakura.ne.jp/transport/gtfs-list.html>

複合経路検索サービス 「mixway」について

行き方に、選択肢をもっと。



【メイン機能】

地点から地点への経路検索

- 公共交通 + シェアサイクルの経路
- シェアサイクルのみの経路
- 公共交通のみの経路
- 徒歩のみの経路

リアルタイムのポートマップ

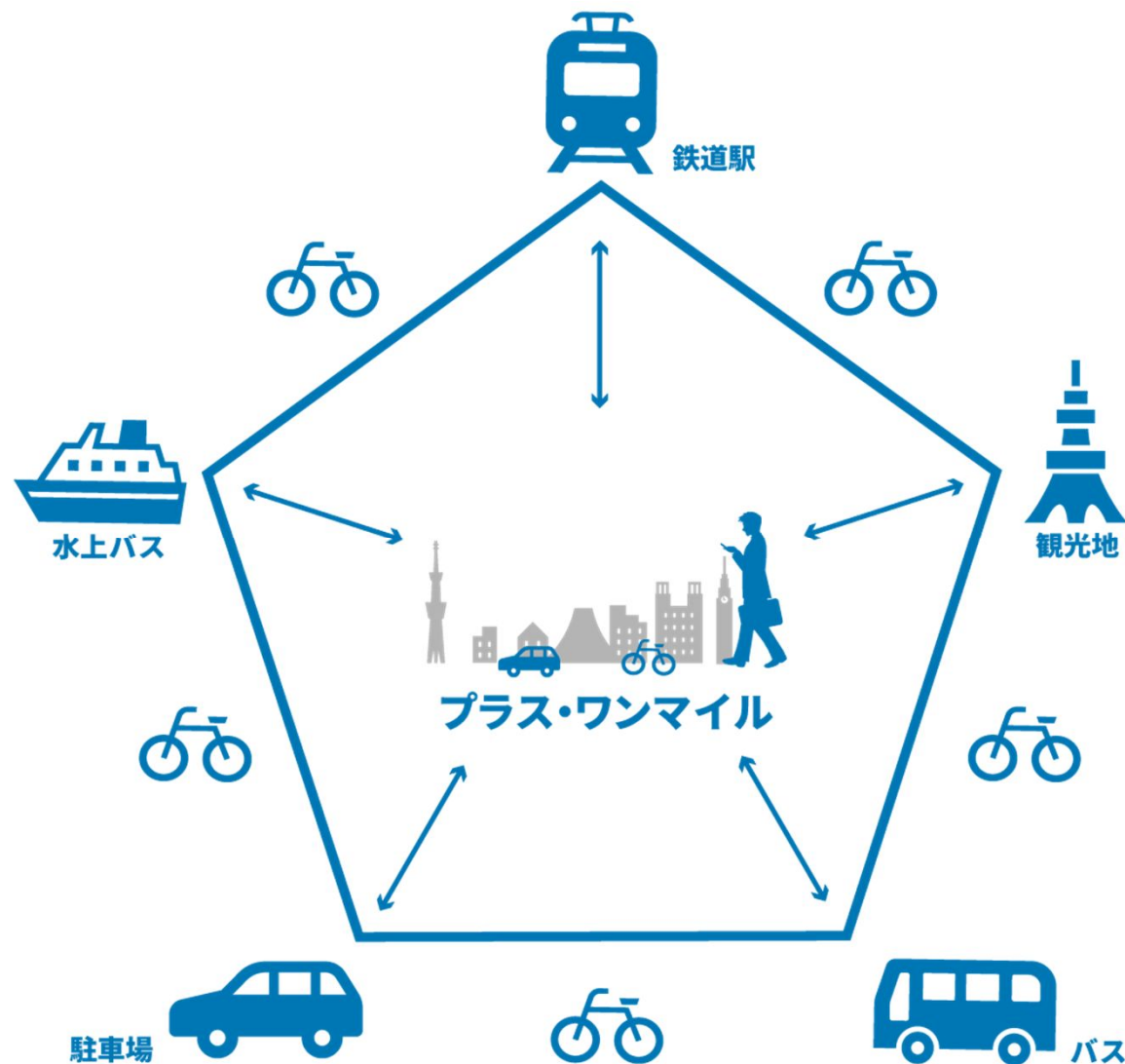
- マップ上から近くのポート確認
- 自転車のある場所 / 空ポートの位置

シェアサイクルを含めた経路検索

利用可能状況をリアルタイムに案内



背景



経路検索にまずは“シェアサイクル”を組み込み、利用を活性化。
さまざまな行き方があるという気付きを与える。

実証実験



国内初のシェアサイクル×公共交通の複合経路検索の実験



実施期間	2018年5月22日(火)～2019年6月30日(日) 予定
実施地域	<ul style="list-style-type: none"> 「ポロクル」対応エリア(札幌市内) 「ドコモ・バイクシェア」対応エリアの一部 (東京都内10区、横浜、仙台、広島、大阪、奈良)
実験方法	シェアサイクルと公共交通の複合経路検索サービスをWeb公開し、サービスの利用率やアクセス数などを計測。また、アンケート調査により定性的なフィードバックも収集します。
実験項目例	シェアサイクルと公共交通の複合経路検索サービスの有用性、当該サービスによるシェアサイクルの利用促進効果など

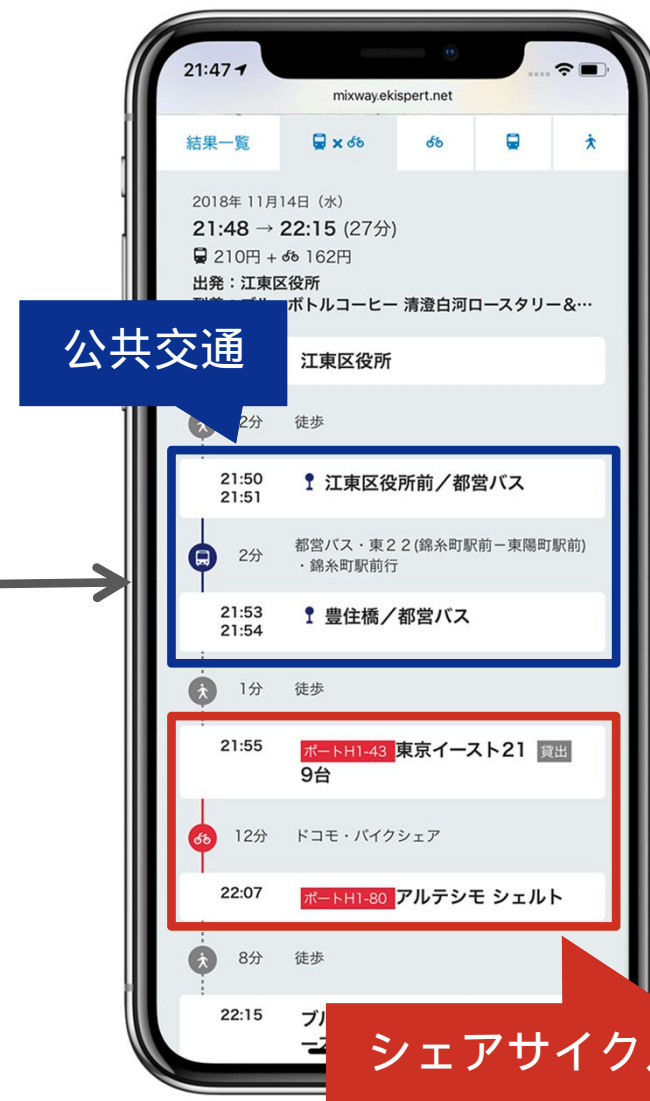
経路検索の画面イメージ



出発・到着地を指定



検索結果一覧から選択



検索結果詳細を閲覧

ポートマップの画面イメージ



借りる際のマップ



返す際のマップ



ポートの詳細情報

こだわり



「mixway」上での情報の見え方や、経路検索、リアルタイムポートマップといった機能の使い勝手を開発メンバー自らフィールド調査。

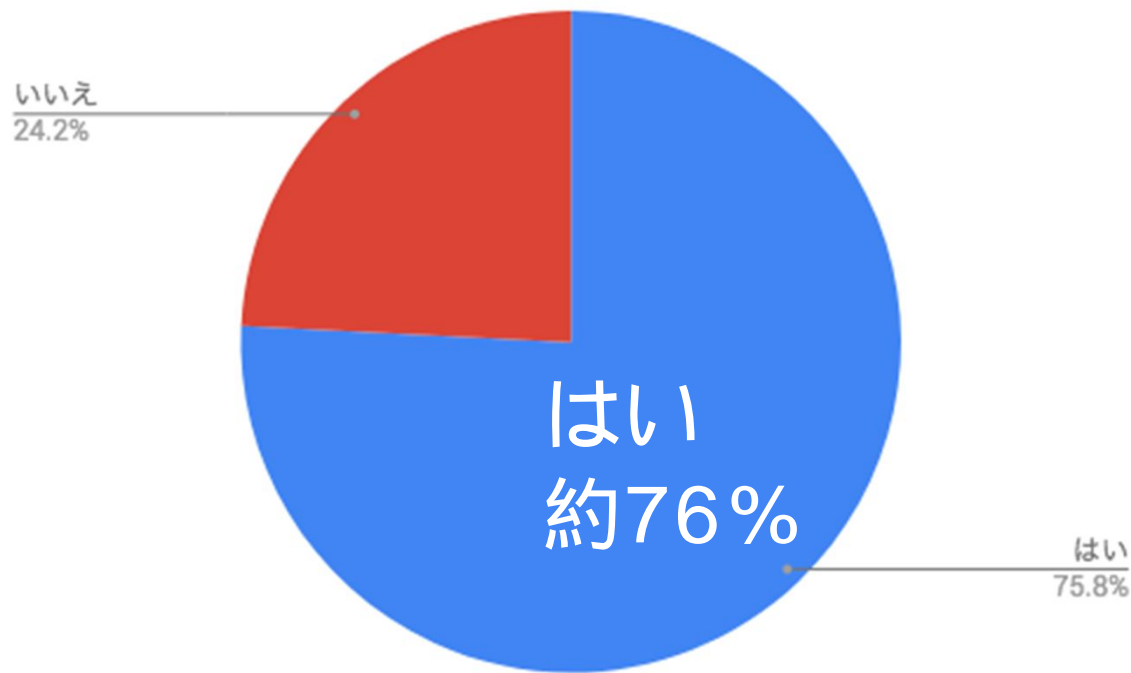
利用者の立場となって、課題や改善点を洗い出し、サービス改善を行っている。

写真は札幌市ポロクルと都内ドコモ・バイクシェアの調査時の様子



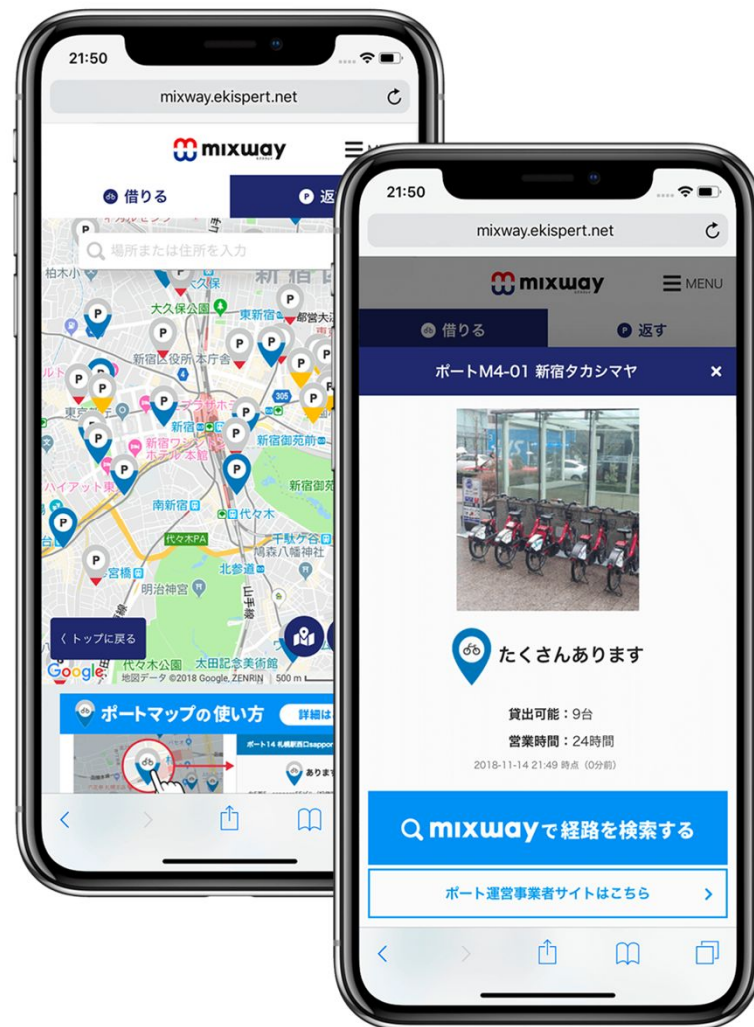
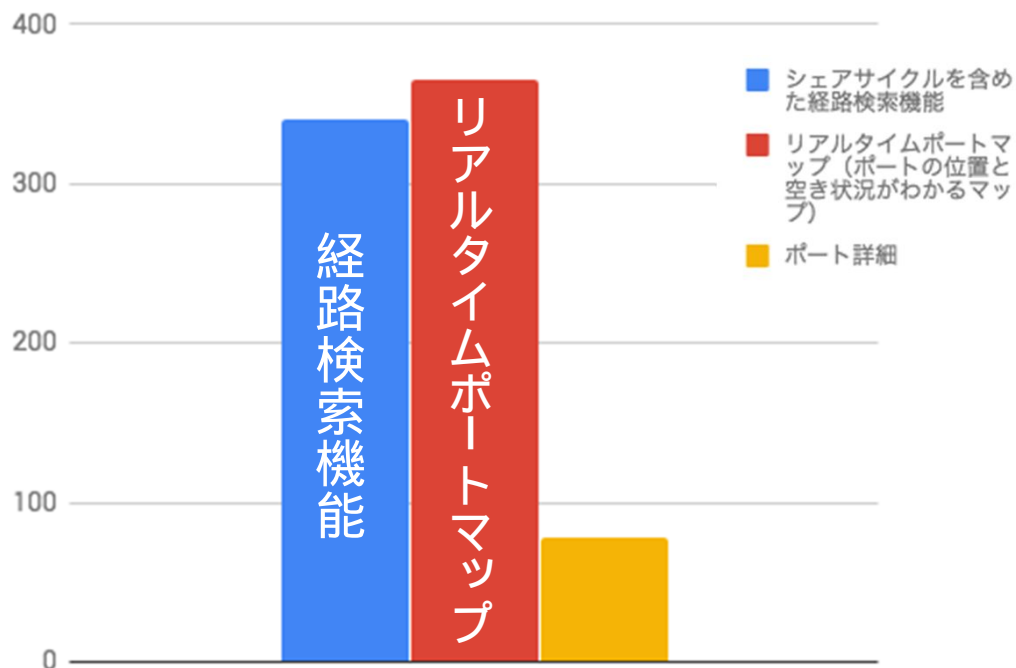
「mixway」
実証実験アンケート結果

問：今後、経路検索結果をもとに
他の交通手段を選ぶ・変えることは
あると思いますか



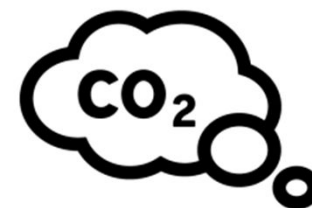
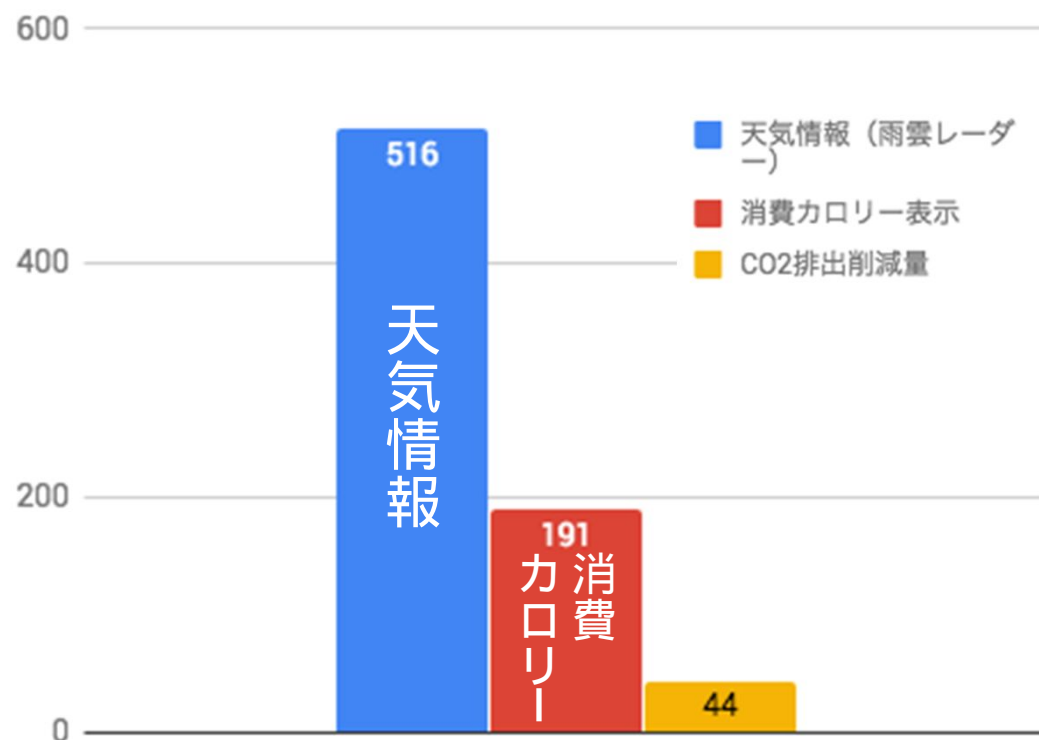
mixway上で表示された経路によって、
利用者の行動変容を促す可能性が十分にある

問：mixwayで特に便利に感じた機能・ページを教えてください



シェアサイクル利用者にとって、リアルタイムなポート情報へのニーズが非常に高いことがわかった

問：次の中から経路検索結果に出して
ほしい情報があれば教えてください



経路検索の付加情報として、天気情報や消費カロリーなど
移動に関連する情報・案内のニーズもあることがわかった

mixwayの課題とチャレンジ

生活利便性向上/新しいモビリティの利用促進

- シェアサイクルと公共交通のミックス経路案内や、リアルタイム情報の案内には大きなニーズがある事はわかった。これらの案内によって人々の生活利便性向上、新しいモビリティの利用促進に寄与する事が必要と考える。

サービスレベルの向上/こだわりの追求

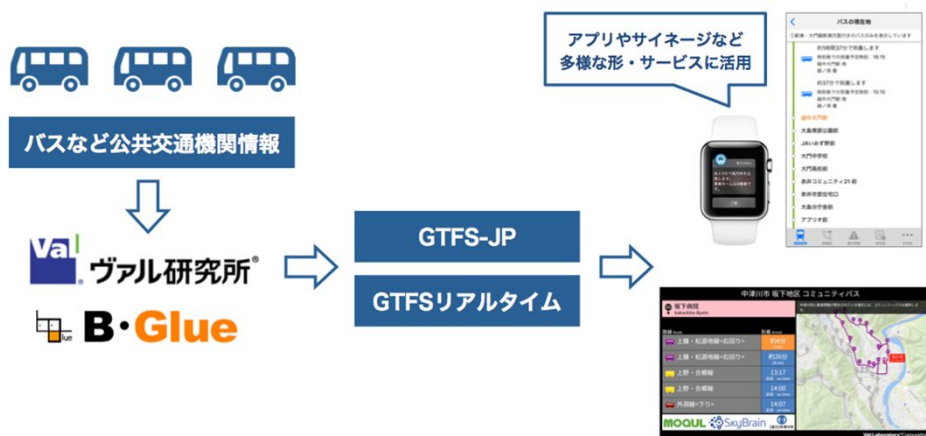
- シェアサイクルに乗って目的地に辿り着くまでの手間/コストをmixwayで吸収し、限りなくシームレス(なめらか)に各種サービスを利用できるような仕組みづくりが必要。

さらなる拡張性/発展性

- 今後、異なる移動の傾向があると考えられる都市部や観光地など、さまざまな地域でさらなる実験を行い、地域ごとの課題の抽出や対応も行いたい。対応エリア・サービスの拡充、運行情報や天気情報、様々なリアルタイム情報との掛け合わせ、さらに個人個人の状態・都合に応じた案内(パーソナライズ)などを検討する。

MaaSを意識した今後の展開

今年を取組・実証実験



2018/10/11 公共交通機関情報のオープンデータ化事業を開始
<https://www.val.co.jp/topics/2018/1011.html>

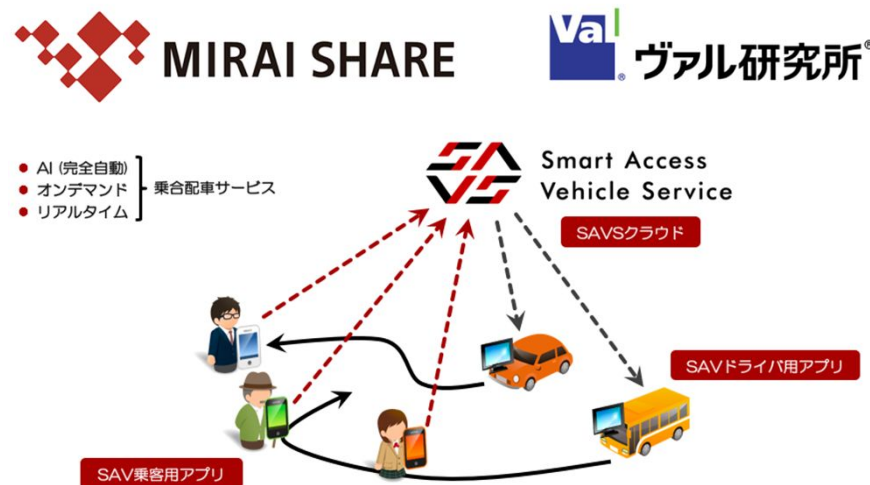


2018/11/19 相乗りタクシー「AINORY」と「駅すぱあと」アプリ連携強化
<https://www.val.co.jp/topics/2018/1119.html>



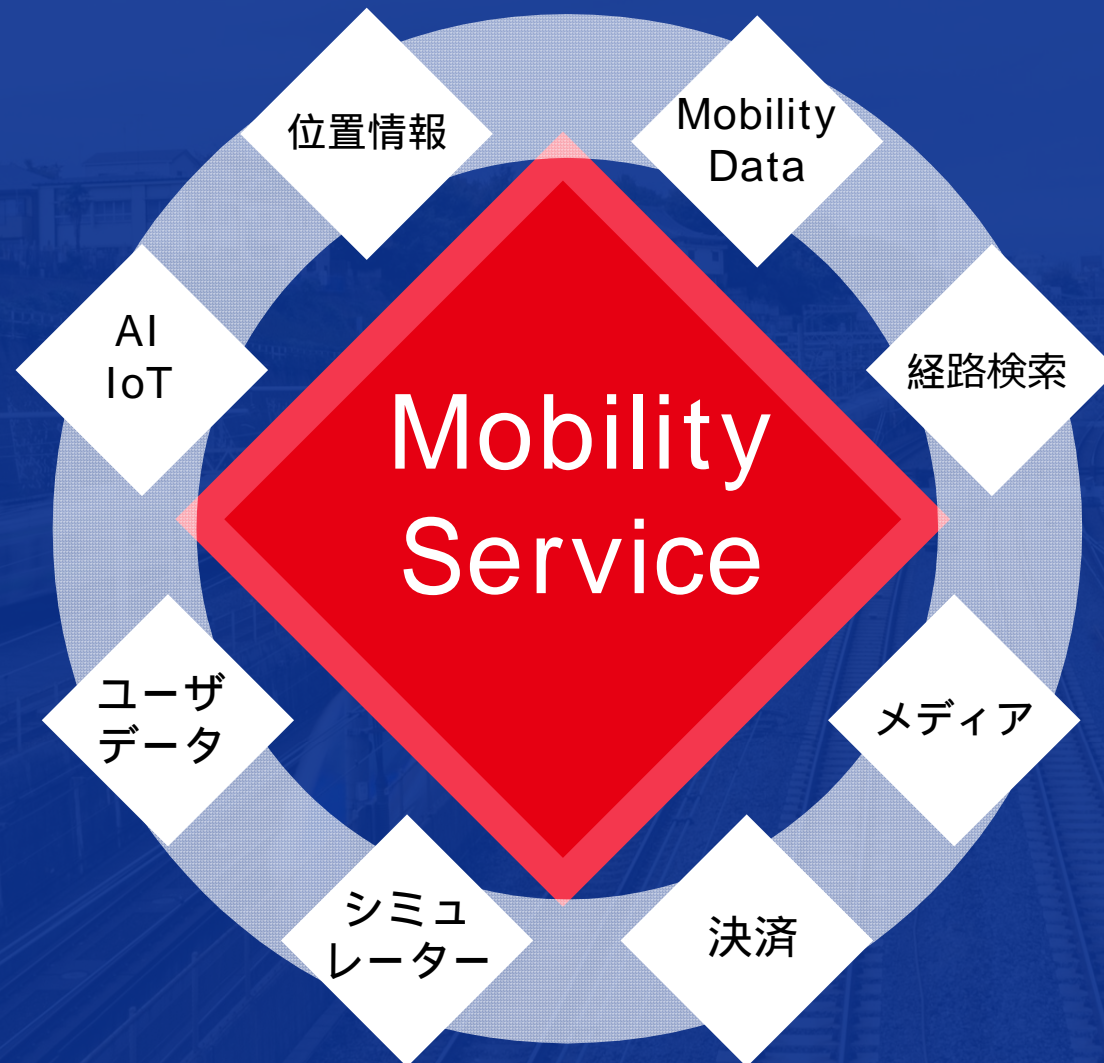
Yahoo!乗換案内内の検索画面 自動運転バスの予約画面 駅情報の画面 (すべてイメージ)

2018/8/14 自動運転バスの実証実験にあわせてMaaSトライアルを実施
<https://www.val.co.jp/topics/2018/0814.html>



2018/10/12 未来シェアとヴァル研究所、MaaS分野で業務提携
<https://www.val.co.jp/topics/2018/1012.html>

独占市場ではなく「共創」による共存市場を作り、
社会の課題解決を実践していきます



お問い合わせはこちらまで

TEL : 03-5373-3529

MAIL : sharing-economy@val.co.jp

2018/11/30

株式会社 **ヴァル** 研究所®